



「パウロ年」を感謝と共に閉幕

パウロ年閉幕ミサが、6月28日14時からカテドラルにて行われた。ミサの説教で、宮原良治司教は、「教区はこの年、パウロから豊かな恵みの風をいただいて、新たな船出をした。パウロ年は教区の今後の進むべき方向性に大きな示唆を与えてくれた。さらに聖パウロが、復活したキリストと出会い回心したように、神との出会い、交わりこれが真の回心につながる。パウロがその当時の社会と教会をつなぐ橋渡しをしたように、私たちも日々回心し、現代社会と教会あるいは神様をつなぐ架け橋になろう」と語った。



カトリック荒尾教会(現教会委員長杉野サヨ子)は1959年(昭和34年)4月29日に故ドミニコ深堀仙右衛門司教により創設された。当時の聖堂は木造平屋建てで畳敷

荒尾教会創立50周年を祝う

6月21日(日)、カトリック荒尾教会(下町豊重主任司祭は、教会創立50周年を記念した。近くにあった三池炭鉱に働く信徒の増加に伴ない大牟田教会から分離する形で荒尾の地に信徒数45人の聖ヨゼフに捧げられた教会が献堂された。

きであつた。この日の聖堂と司祭館の落成式には当時の荒尾市長など多方面から多くの関係者が参集したと記録されている。

司牧は聖コロンバン会に委ねられ、初代主任司祭としてモロニー神父が任に当った。文字通り炭鉱の町の教会としてスタートしたが、様々な社会状況などで宣教は困難を呈した。モロニー神父は司牧の傍ら、近隣のカノッサ修道会や明光学園との交流や不明の信徒探索に日々を費やした。二代目のベーカー神父(聖コロンバン会)の時には炭鉱爆発があり、被災者慰問に尽力した。三代目はオマール神父、四代目にドイル神父、五代目はオマホニー神父、六代目ではミラノ会のスカットロン神父になり、七代目は長崎教区の

「召命と司祭職」で司祭50人が研修

6月23日から25日まで、唐津ロイヤルホテルを会場に福岡教区で働く司祭のための研修会が開催された。



津ロイヤルホテルを会場に福岡教区で働く司祭のための研修会が開催された。今年このテーマは「召命と司祭職」である。最初の基調講演に立った聖ザベリオ宣教会のS・フランコ神父は、「司祭職を理解するための鍵は、イエス・キリストである」と語った。キリストは私たち人類のためにご自分の血を流すことによつて神と私たちを結び付けられ、唯一の祭司職を果たされたが、信徒も神を賛美し、祈り、人々を神へと導く時、教会共同体全体としてこの祭



宮原良治司教認可
発行所 福岡教区本部
福岡市中央区浄水通6-28
発行人 人
カトリック福岡司教区
編集人 森山信三
TEL 092-522-4059
FAX 092-523-2152
振替口座 01760-6-20729
カトリック福岡司教区
定価 一部60円

8月の意向

- 教皇様の意向のために祈りましょう
- 【一般】難民と移住移動者
 - 【宣教】迫害され差別されるキリスト者
 - 【日本の教会】完全な核廃絶の実現

カトリック学校の窓⑤

カナダ人で、日本が初めてというM神父は、まだまだ熱心な質問を続けてきた。日本のカトリック学校が、良心的で、概して一定のレベルを維持していることは、わかったよ。それから、それぞれの学校が、困難な状況の中を全力で踏ん張っているようすも、つかめた。こうした学校が、日本の社会でどういう貢献をしていると言えるのかな。

まず、今の日本のカトリック学校は、いろいろな意味でそれぞれの地域に影響を持つ人々を育てていると思えます。中国のことわざで、『国家百年の計』というのですが、もちろん息の長い話です。『我々の生きている間に結果を見なくてもね』。『はい。それで、この人たちに、福音的な価値観を持ってもらうことが、私たちの最終的な狙いと願っています』。

「福音的価値観については、まず、それに触れさせることだろうね。『そうです。それと、理論武装の支えも。』でも、それらすべてのベースとして、学校が子どもたちにとって、来るのがうれしい場

夏季召命学校

テーマ：「私たちの教会、私たちが教会」
日時：8月18日(火)～20日(木)
18日10時に大名町教会に集合
場所：カトリック新田原教会
対象者：小学4年生から
中学3年生の男子(30人)
参加費：1500円
持参する物：ロザリオ・洗面道具・健康的な食べ物・上履・袖中子・写し・懐中電灯・筆記用具・運動靴など

*着替えは多めに持ってきてください。
申込・問合せ先：浦川務神父(☎0942-32-8011 久留米教会)

司職を生きる。キリストはさらにもう一つの祭司職に私たちを招かれた。すなわち、教会共同体を支える者として使徒たちを派遣され、彼らの後継者が司教、司祭と呼ばれるようになる。この新約の祭司は、教会共同体に「対峙」した働きだけではなく、共同体の代表として「教会共同体とともに歩む」という働きがあることを示唆した。最後に司祭は、第2バチカン公会議以前は、ミサの中で、いけいであるキリストを捧げる者という観点から理解されていたが、同公会議は派遣という新たな観点から捉えられていることを指摘し、司教と司祭の

一致さらに司祭団としての一致が求められていることを強調した。次に、行橋教会主任の山元眞神父が基調講演として、司牧の観点から「司祭と信徒の協力関係」について語った。山元神父は自らの小教区を紹介しながら、司祭と信徒、司祭と司祭の対話の重要性を話した。

また、今回の研修会と一緒に感謝を与えたのは2人の司祭の召命体験であった。天草地区3教会の協力司祭である井手公平神父は、自らの挫折や失敗を通して召命の道に導かれたこと、また自分の中にある弱さや醜さを包み

隠すことなく神様に委ねた時、解放されたと言った。また、カテドラル大名町教会の大塚了平助祭は、家庭や自分の回りに一切キリスト教の雰囲気のない状況からどのようにして神の道に入るようになったのかを淡々と語った。韓国に留学をしていた大学時代に下宿先の家族を通してカトリックに出会い、受洗し、帰国後、青年会活動を通して司祭への道を歩むことになった。いよいよ神学校に入ると決まった時も、家族に反対され、理解してもらえなかったという体験を語った。

その後、司祭と信徒の協力などについてグループに分かれて分かち合いを行った。教区内で働く司祭たちが理解を深め合うチャンスでもある恒例の懇親会では、各修道会、宣教会、各国の歌などが余興として披露され、なかなか雰囲気2日目を終えた。

最終日は、司祭団としての「司祭年」開幕のミサが、宮原司教を中心に全員の共同司式で行われ、3日間の日程を終えた。



最近電車や地下鉄に乗って思うことがある。10年ほど前にはなかった光景である。それは、自分が乗っている車両に座っている人々のほとんどが、ケイタイを見ていて、雑誌や小説を読んでいる人であまり見かけないということ。彼らは、友人とメールを交換しているのかもしれない、あるいは大事な商談をしているのかもしれない。あるいはインターネットに接続して何らかの情報を得ているのであろう。いずれにせよ、彼らは電子上の何者かと交信している。誰かと面と向かって話しているわけではない。そんな形でコミュニケーションしているときは、ある種の緊張や、相手に対する気遣いはそれほど必要ではない。キーを自らの思いに従ってたくという機械的な作業で済ますことができる。しかし、ここでちよつと考えて見る。顔を見合わせるわけでもない、声を聞いているわけでもない、どんな仕草や振舞いを見ることがもなく、ただ無機質な電子文字だけで人々がコミュニケーションし、それがすべてになったとき、何が起ころうだろうか。相手が直面していることに対する共感、あるいは同情、相手の思い等を推し量ることができるだろうか。つまり、自分が情報を受けて処理するばかりではなく、自らそれぞれの事象について考え、判断し、行動するということが少なくないのではないか。現代は、意志伝達が完結するプロセスが限りなく短絡化してはいないか。そこには、相手の苦悩に寄り添うとか、一緒に悩むなどということが意味のないものになる。時々ケイタイを置いて生きてみませんか。M

1988年のナイス以来、教会の中で「分かち合い」は、かなり根付きました。分かち合いで大事なことは、まず相手が何を言いたいのかを傾聴

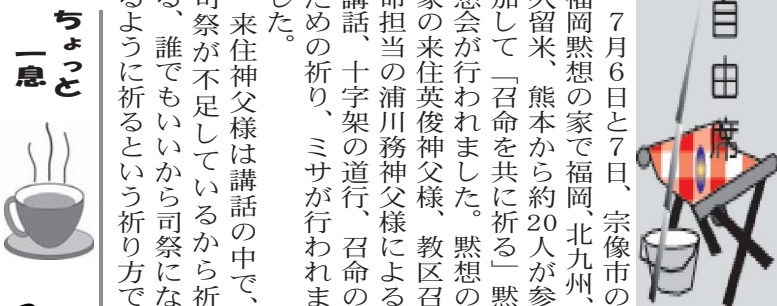
(5) 司祭は共同体を育てる



その反面、教会の中で「議論」することが難しくなったように思います。日本の社会全体がそうなのですが、場の調和的雰囲気や大事にするあまり、議論を避けるようになっていきます。しかし、分かち合い（傾聴）だけで共同体は発展できません。今やっていることを続けていくだけならともかく、状況を考えて方向を大きく変えようとする場合、「私はそう思わない、なぜならば」と反論すること

必要になります。相手の感情を傷つけないことがいつも最優先されると、活力ある共同体は望めません。今は分かち合う場なのか、議論する場なのかを区別すべきです。そして、議論の場では、私たちはもっとタフになるべきでしょう。一方、議論になると、強い語調で発言する人が場を支配しがちです。これは避けなければなりません。会社なら「激しい議論も仕事のうち」という共通理解があるし、上に行こうとする人はそれなりの覚悟もしていると考えていいでしょう。しかし、教会では激しい話し合いに慣れていない人が多いし、役員をすること

も珍しくありません。この問題は二つ分けて考える必要があります。一つは、教会の未来に関心を持つ数人の信者がたまたま個人的に話す場合です。こういう場では、互いに相手を見ながら、議論モードで話してよいかどうか判断するしかないでしょう。親しい人同士なら、「今日は議論モードで話させてください」と了解を求めてもいいかもしれません。もう一つは「会議」ですが、この場合は、司会者の役割が大事です。それは次回。御受難修道会 宗像修道院長



7月6日と7日、宗像市の福岡黙想の家で福岡、北九州、久留米、熊本から約20人が参加して「召命を共に祈る」黙想の家が行われました。黙想の家の来住英俊神父様、教区召命担当の浦川務神父様による講話、十字架の道行、召命のための祈り、ミサが行われました。来住神父様は講話の中で、司祭が不足しているから祈る、誰でもいいから司祭になるように祈るという祈り方

は、この人に司祭になってほしいと思う人、多いので、この人は司祭に向いているのでは？と思う人がいたら積極的に声をかけることが大切と話されました。また浦川神父様は、ご自分の召命、司祭になったきっかけについて話されました。今回の黙想会を終えて、召命のためには、祈りと積極的に呼びかけを行うことが大切だと認識しました。福岡教区に豊かな司祭・修道者のお恵みがあるように、皆で祈り、呼びかけましょう。木下翔（求道者）

参加者募集中

奉獻生活者のための黙想会

◆ 9月14日(月) 16:00受付 ~21日(月) 朝食後終了
現代の教会と奉獻生活（修道生活）を考えます。
【費用】指導料込みで 50000円／指導：来住英俊神父

カトリック福岡黙想の家

聖堂／洋個室（洗面トイレ付）／冷暖房／浴室シャワー室／障害者用トイレ／エレベーター
カトリック御受難修道会・宗像修道院
811-4155 福岡県宗像市名残1056 Tel 0940-32-3222・Fax 0940-32-3385
http://www1.biz.biglobe.ne.jp/~fmokuso/index.htm

PRAYER GROVE
MUNAKATA

2008年(平成20年)度 福岡教区本部 資金収支計算書		
《収入の部》		
科 目	決 算	摘 要
神学校援助金	25,546,544	
神学校援助金	25,546,544	神学校後援会費(月、1口300円)
寄付金収入	25,512,100	ザベリ財宣教会、コロンバン会、宮原司教様
特別献金	681,980	
広報活動献金	681,980	教区報広告代
分担金収入	51,011,254	
小教区分担金	48,141,735	教会維持費、ミサ献金の総額15%
租税公課分担金	1,013,719	幼稚園、教会法人税等
その他分担金	1,855,800	小教区負担金、ハンドブック、研修会費等
資産運用収入	19,065,935	
受取利息	18,935,185	預金利息、債権配当金等
電柱敷地料	112,750	
資産利用収入	18,000	
繰入金収入	29,976,590	
小教区繰入金	3,515,000	謝礼、報酬等の課税されるものを給与所得に組み入れる為
幼稚園繰入金	110,000	
納骨堂繰入金	80,000	
本部会計繰入金	20,000	
教区内貸付金回収	14,700,000	
人件費分担金収入	11,551,590	
収入合計	151,794,403	
前年度繰越金	36,103,111	
経常収入合計	187,897,514	
《支出の部》		
科 目	決 算	摘 要
教区宗教活動費	53,823,603	
祭儀行事費	9,466,779	着座式・黙想会謝礼・葬儀・叙階式等
司祭研修会費	3,524,927	黙想会等
宣教広告費	3,150,254	教区報・写真代他
教育育成費	655,000	信仰教育・聖書委員会等
教育養成費	1,247,141	長崎神学院分担金
諸会費	107,000	教戒師会他
会議費	352,627	各種委員会会議参加費等
中央協議会分担金	3,100,000	
神学生養成費	17,836,125	大伸学院分担金
助成金	14,383,750	美野島、島崎・大名町教会修理等
教区管理費	40,605,782	
消耗品費	1,527,139	
消耗備品費	118,435	
通信費	1,704,066	
旅費交通費	2,152,776	職員交通費、高速代、JR・航空運賃等
印刷諸費	211,995	
自動車諸費	2,020,702	
水道光熱費	3,455,244	
交際接待費	959,638	
修理費	157,320	
営繕費	6,551,700	姉妹会・門司教会石垣修理、皿山・司教館司教様部屋等
賃借量	3,150,892	
委託手数料	5,809,190	会計事務所、弁護士、労務士、司法書士等
租税公課	3,786,300	消費税、法人税、市民税、固定資産税等
損害保険料	658,370	
雑費	68,700	
教区内貸付金	8,273,315	吉野幼稚園旧園舎解体、土地整備
人件費	63,914,866	
司祭給与	22,223,000	13名分
職員給与	31,304,000	職員・パート18名(姉妹会シスター、プラザー含む)
法定福利費	5,187,866	社会保険事業主負担分・労災保険等
人件費分担金	5,200,000	ザベリ財会へ(4名の給与を本部へ)
繰入金支出	1,707,000	
小教区繰入金支出	1,707,000	
支出合計	160,051,251	
次年度繰越金	27,846,263	
経常支出合計	187,897,514	

参加者募集中

奉獻生活者のための黙想会

◆ 9月14日(月) 16:00受付 ~21日(月) 朝食後終了
現代の教会と奉獻生活（修道生活）を考えます。
【費用】指導料込みで 50000円／指導：来住英俊神父

カトリック福岡黙想の家

聖堂／洋個室（洗面トイレ付）／冷暖房／浴室シャワー室／障害者用トイレ／エレベーター
カトリック御受難修道会・宗像修道院
811-4155 福岡県宗像市名残1056 Tel 0940-32-3222・Fax 0940-32-3385
http://www1.biz.biglobe.ne.jp/~fmokuso/index.htm

PRAYER GROVE
MUNAKATA

ミサ用ワイン

ヴィノ デ ミサ
VINO DE MISA
スイートタイプ(赤)(白)
ご用命 お問い合わせは
有限会社 大楠酒店
ヨハネ 青木 彰
〒815-0082 福岡市南区大楠2丁目4番8号
電話 092-531-4718 Fax 092-521-6453

別れ・出逢い・旅立ち

草苑

カトリックのご葬儀
互助会制度もご利用できます。
木下株式会社
TEL 092-526-5656
〒810-0016
福岡市中央区平和3丁目1-5

今年で、来日75周年、福岡教区開設60周年を迎えた聖パウロ会では、去る6月30日、赤坂のサン・パウロにて聖パ



聖パウロ会、福岡開設60周年

ウロ共済会のメンバーをはじめ近隣の司祭、修道者も多数集い、その喜びを分かち合った。

最初に聖堂にて聖体賛美式が行われ、説教の中で、鈴木信一神父（パウロ会）は、「ちょうど60年前、かつての小笹の修道院開設のため、戦後で荒れ果てていた土地を米軍のブルドーザーを借りて整地した。しかしそのブルドーザーは実は、サン・スルピス大神学院が借りていたもので、神学院に向かっていたブルドーザーを全部、途中小笹に止めて一日で整地させてしまった」とユーモラスに述べた。

小教区と教区の仕事に走り回っていた日常から一変、イタリア語を学ぶ学生生活になつて2ヶ月以上が経過しました。イタリア語は全然上達しませんが、カトリックの中心国の信仰の姿を観察するという、ある意味お恵みの時を過ごしています。

祭シリーズ ⑤

「ペルージャから」

一つの教区で今お世話になっていますが、ここは、ペルージャで2番目くらいに信者が多いらしく、信者数は1万人を超えているんだとか！しかし、信者数に比べると、聖堂は小さく感じます。そのためか、主日は土曜日夜と日曜日午前2回と夕方の合

さらに「来日後、お金の工面のため、古着を世界中から集めてきたが、それが当時飛ぶように売れ、その収益で聖パウロの出版や放送事業が開設出来たが、それで当時は聖パウロ会ならぬ『ボロ会』と呼ばれていた」など、戦前戦後の混乱期を生き抜いて来た会について、終始微笑ましいエピソードとともに語った。

また、場所を移して修道院の3階で行われた祝賀会では、共済会のメンバーによる聖歌のメドレー、またお祝いに駆けつけた大神学生によるプロ顔負けの歌の披露などもあり、なごやかに聖パウロの祝日を祝った。



イタリア語勉強中の司祭たち（前列右大分教区の平田神父）

史的・様々な事情があるのも事実でしょうが。でも、一番の理由は、それだけ信者がいるからです。カトリック信者が全人口の1%にも満たない日本と違い、イタリアは95%が信者です。ペルージャの町が一つの教区で、25の小教区があり、その人口は15万人以上です。となると、これでも教会が足りないのではと感じます。この感覚の違いに、まず気づかれました。イタリアの人にとっては、信者がそんなに少ない世界が想像できないそうです。

計4回のミサ、平日も朝と夕方の2回ミサがあり、これはどこの教会もほぼ同じみだと思います。こうしないと、信者が集まりきれないわけですね。このような教会を80歳を超えた主任神父様が一人で司牧しています。よく言われるように、イタリアも再宣教が必要、つまり教会離れが少し進んでいるのも事実で、ミサにあずかる人の少なさを感じます。そのような中、自分は高齢だとか泣き言一ついわずエネルギッシュに働く神父様をみて、日本での自分の働きを見つめ直させられています。イタリアでも司祭任命が減りつつあるのも事実です。ペルージャが属するウンブリア州の司教協議会には、人口約81万人に対し、教区で働く司祭養成のための大神学校は一つだけ、神学生は現在20人位だとか。召命の減少、司祭職の尊厳とその役割の見直しは福岡教区、日本の教会だけでなく、先進諸国共通の課題だと言われるのが理解できます。

パウロ 田中重治神父

近頃の若いモンは —青年による青年事情通信— 色



平野 恵さん

「もっと早くに青年活動していればよかった」と語るのは、今春大学を卒業し社会人になったばかりのマリア・アスンブタ平野恵さん。

昨年の四旬節に行われた地区青年黙想会で教会の青年たちと出会い、その後は中高生キャンプ（FYCC）、NWM（ネットワークミーティング）、WYD in Japanと内外の青年活動へ積極的に参加した。「私にとって信仰は、いろんなことに挑戦できるという確信で、失敗しても自分の益になると信じられる」。その大きな瞳はいつも好奇心でいっぱい。

そんな恵さんも中高生時代は教会よりも、部活や友達と過ごす時間を優先していた。こうして大学へと進み、この時プロテスタントの牧師を通じてキリスト教諸派の青年たちと共に聖書の勉強をする機会に出会った。この体験が「神様って何だろう」と考えるきっかけとなり、プロテスタントの青年たちとの交流を通して「日本の社会を変えてもらいたい、神さまの望む心、計画に添うような社会になつてほしい」と、そのために必要な人間作りが保育園の最大の使命、役割です」と語った。

2日目は、一日を通してカトリックの精神を生きて、「共同体作りと戦略計画」：協働者と共に生きる使命のために「をテーマに、シスター古木涼子（宮崎カリタス会会員）によるプランニングワークショップが行われた。命令型から参加型へ。一人ひとりみんな違い、その違いは多様性であり、豊かさであると思えるように自分を訓練する必要がある。ヴィジョン（夢）のない保育園は堕落するだけという話を聞いた後、ヴィジョン・ミッションの作成を行い、いくつかの質問に対しての自分の答えを出しながら、各グループでそれについて分かち

して「自分と同じカトリックの青年にも会ってみたい」と希望するようになった。現在の恵さんは来年2月に予定されている「NWM福岡」の準備スタッフとして活躍中。「召命と感謝」というテーマをスタッフ同士で何度も分かち合い、深めてきた。今はこの内容をNWMで福岡を訪れる全国の青年に、どのように広め、分かち合うかの段階にきている。

自分の今を漢字に例えるなら「色」と答えた恵さん。「色んなこと、色んな人、色んな自分に出会いたい。そして自分の色を見つけたら、それをみんなにあげられる大人になりたい」。そんな彼女の一番近い将来の夢は「自分の小教区の中高生会を盛り上げていくことです！」と笑顔で話す。笹丘教会 青年信徒

保育施設長研修会開催



7月1日、3日、JALリゾートシーホークホテル福岡（早良区）に於いて、日本カトリック保育施設協会全国施設長研修会が九州ブロックの担当で開催された。

「神さまからの愛」カトリック保育園の使命をテーマに、東北から九州まで99人が一同に会し、3日間有意義な学びを行うことができた。1日目は、宮原良治司教によるミサ、そして「カトリック保育園にのぞむこと」と題

して講話が行われた。司教は、「日本の社会を変えてもらいたい、神さまの望む心、計画に添うような社会になつてほしい」と、そのために必要な人間作りが保育園の最大の使命、役割です」と語った。

2日目は、一日を通してカトリックの精神を生きて、「共同体作りと戦略計画」：協働者と共に生きる使命のために「をテーマに、シスター古木涼子（宮崎カリタス会会員）によるプランニングワークショップが行われた。命令型から参加型へ。一人ひとりみんな違い、その違いは多様性であり、豊かさであると思えるように自分を訓練する必要がある。ヴィジョン（夢）のない保育園は堕落するだけという話を聞いた後、ヴィジョン・ミッションの作成を行い、いくつかの質問に対しての自分の答えを出しながら、各グループでそれについて分かち

この3日間の学びで、カトリックの保育園とはという大きなテーマに対して参加者それぞれが、自分なりの進み方向性を示された思いだったのではないだろうか。

その霊性と深い日本理解によって生涯を日本の宣教に捧げたホイヴェルス神父。その珠玉の数々の言葉、その人柄に出会える1冊。ドン・ボスコ社 発行 税込定価 693円

☆ヨハネ福音書を読む 聖書シリーズ7 京都司教区聖書委員会 発行 税込定価 1470円

☆心だけは永遠 ヘルマン・ホイヴェルス 神父の言葉 土居健郎・森田明 編著 発行 税込定価 693円

マザー・テレサ 100の言葉
バーバラー 著
山本文子 訳

ヨハネ福音書を読む
ヘルマン・ホイヴェルス 著
土居健郎・森田明 編著

不動産全般/売買・賃貸・管理
なんでもお問い合わせください

(株)ジャパン・スマイルか
代表取締役 マルガリタ・マリア 吉田由利子
〒810-0044 福岡市中央区六本松4丁目9番4号
TEL 092-761-8800
<http://www.inuka-japan.com/>

FPC 福岡プライマリケア訪問看護ステーション

自宅で療養されている方、在宅で看取りたい方、精神障害の方など、病気について、介護方法について専門的指導や援助が必要な方はご相談ください。
費用は医療、介護保険でのご利用になります。

春日市上白水 5-11-102 092-517-6313
福岡プライマリケア株式会社 代表：エリザベト熊谷

総合建築業
・一般住宅（新築・改築工事）
・鉄骨工事
・RC工事

建築の事なら何でもお気軽にご相談ください

有限会社 **森山工務店**
ヨゼフ 森山 森山 新太郎
福岡市早良区四箇1丁目15番28号
☎ (092) 811-7265

木との出会い 人との出会い 神との出会い

セント・ポール FUKUOKA

カトリック教区、信託、ビデオ、DVD、CD
福岡市中央区大宮2丁目1番1号カトリック教会1F
平日 AM 10時～PM 5時40分
日・祝日 AM 11時～PM 4時（休館日）
TEL 092-741-6888 FAX 092-741-6861
URL <http://www.psa-inc.jp>

み国が 来ますように！

福岡黙想の家ご案内 8月・9月

◇31日(金)～9日(日) 福音の光修道会黙想
 ◇10日(月)～17日(月) ヨハンの幼きイエズス修道会黙想
 ◇17日(月)～23日(日) サレジオ会黙想
 ◇25日(火)～26日(水) 明治学園職員黙想会
 ◇29日(土) 福岡チェナクルム
 ◇30日(日) 紫苑com.スピリチュアル研修会
 ◇30日(日)～4日(金) オブレート会黙想

9月
 ◇7日(月)～12日(土) レンブートル会黙想
 ◇14日(月)～21日(月) 奉獻生活者のための黙想会
 (来住神父指導)

◇19日(土)～20日(日) 聖マリア在俗会黙想
 ◇21日(月)～22日(火) 九州アシュラム修養会
 ◇26日(土) 福岡チェナクルム

〒811-4155 福岡県宗像市名残1056

☎0940・32・3222 ㊟32・3385

http://www1.biz.biglobe.ne.jp/~fmokuso/index.htm

真命山諸宗教対話・靈性交流センター

※祈りの集い

年間テーマ：聖パウロについて

レクツィオ ディヴィーナ

・日 時：9月10日(木) 10時～15時半

・内 容：聖パウロの書簡 I

指 導：フランコ・ソットコロノラ神父(真命山院長)

ダニエレ サルツィ・サルトリ神父

園田善昭神父／Sr. マリア デ・ジョルジ

問合せ先：真命山諸宗教対話・靈性交流センター

☎0968・85・3100 ㊟0968・85・3186・玉名郡和水町蜻浦

1391-7・E-mail shinmeizan@chive.ocn.ne.jp

カトリック教会のカテキズム

日 時：2009年9月27日(日) 15:00

場 所：カテドラル大名町教会

講 師：櫻井尚明神父(大名町教会主任)

資 料：カトリック教会のカテキズム

次 回：10月25日(日) 15:00

2009年度北九州地区聖書講座

メインテーマ：いただきます

～神のことばを食べる～

日 時：10月11日(日) 14時～16時半

場 所：カトリック戸畑教会

講 師：森山信三神父(西新教会主任)

主 催：北九州地区信徒協聖書部会／

教区聖書委員会

日本カトリック平和旬間

◆福岡地区

例年のカテドラルでの平和集会は行われな
 い。各小教区で独自の平和旬間を記念する。

◆第9回北九州地区平和の集い

テーマ：伝えよう、子どもたちへ、いのちの尊さを

・午 前：各小教区で平和ミサ

・午 後：カトリック小倉教会 13時から

*子どもと大人が平和を共に祈るひと

ときを持てるように、子どもたちが参加

できるよう工夫をお願いします。

・献 金：いのちを守るための緊急募金

(カリタスジャパン)

・主 催：平和の集い実行委員会

福岡教区広報室アドレス

E-mail: cdf-kouhou@nifty.com

8月のこよみ

案 内 板

会合と催し

9月のこよみ

2日(日) 年間第18主日／馬渡島教会堅信式
 3日(月) 福岡地区司祭集会(吉塚教会)
 4日(火) 聖ヨハネ・マリア・ピアンネ司祭
 5日(水) 広島平和祈願祭ミサ
 ↑ベトロ平田三郎司教〔2007年第4代教区長〕
 6日(木) 主のご変容／日本カトリック平和旬間(～15日)
 平田三郎司教命日ミサ(浄水通教会7:00)
 7日(金) ドミニコ宮原司教霊名の祝い(カテドラル11時)
 ↑J・P ラベル〔2004年サン・スルピス司祭〕
 8日(土) 聖ドミニコ司祭
 9日(日) 年間第19主日／北九州地区平和の集い
 教皇庁諸宗教評議会議長懇談会(長崎)
 長崎平和祈願祭ミサ
 15日(土) 聖母の被昇天
 岩永義人神父納骨式(和田墓地14時)
 年間第20主日／北九州墓地ミサ
 16日(日) 教区召命学校／↑堤要吉〔2002年浄水通教会〕
 18日(火) 福岡教区幼児教育連盟研修会(唐津：～20日)
 19日(水) ↑L. デンヤンプ〔2001年八王寺〕
 20日(木) ↑D. グリフィン〔2001年玉名教会〕
 21日(金) FYCC 7(大神学校：～23日)
 22日(土) キリシタン研究会(健軍教会)
 23日(日) 年間第21主日／
 北イタリア宣教師家族訪問(～31日)
 27日(木) 福岡地区婦人会感謝ミサ(カテドラル)
 29日(土) 洗礼者聖ヨハネの殉教／聖アウグスチノ祭(笹丘)
 30日(日) 年間第22主日／↑J. ガイヤール〔2007年八王寺〕
 *ゴチック文字は、司教日程

1日(火) 福岡地区婦人会研修会
 教会行政法制委員会(東京)
 2日(水) 常任司教委員会
 3日(木) 長崎教会管区司教司祭代表者会議(長崎)
 4日(金) 年間第23主日／新田原教会訪問(召命講話)
 6日(日) ↑牧山重光〔2005年門司港教会〕
 8日(火) 聖マリアの誕生／司祭評議会(司教館)
 10日(木) 日本205福者殉教者
 ↑J. バーク〔2000年崎津教会〕
 12日(土) ↑A. セトアイン〔2003年泰星学園〕
 13日(日) 年間第24主日
 南柏谷教会創立50周年ミサ・堅信式
 マドンナ会講話(大名町教会)
 17日(木) 年間第25主日／浄水通教会堅信式
 20日(日) 聖マタイ使徒福音記者 敬老の日
 21日(月) 熊本地区リーダー研修会(根子岳山荘～22日)
 22日(火) 青年黙想会(大神学院：～23日) 国民の休日
 23日(水) ↑J. バイヨ〔2004年光丘教会〕 秋分の日
 25日(金) 函館トラピスト修道会大修道院長叙階式
 27日(日) 福岡教区カトリック学校理事長校長長研修会(熊本)
 年間第26主日／世界難民移住移動者の日(献金日)
 茶山教会堅信式
 28日(月) 聖トマス西と15殉教者
 朝禱会
 29日(火) 聖ミカエル・聖ラファエル・聖ガブリエル
 10月
 2日(金) 初金曜ミサ(浄水通教会10時)
 4日(日) 年間第27主日／若松教会堅信式
 *司祭の命日は2000年以降からお載せしています。

カテドラルでのゆるしの秘跡

日時：9月5日、9月19日 第1・第3土曜日 10時～12時

場所：カトリック大名町教会小聖堂

*基本的に第1・第3土曜日。変更の場合もあります。

この夏、若もののプログラム

◆FYCC 7に参加しよう！

テーマ：『一緒にうちへ帰ろう』

日 時：8月21日(金)～23日(日)

場 所：日本カトリック神学院福岡キャンパス

参加費：4500円(兄弟割引あり)

対 象：福岡県内の中学生・高校生

問合せ先：e-mail: fycc7.together@gmail.com

☎092-741-3687(大名町教会：十時神父)

代 表：豊嶋 玲(大名町教会)

主 催：福岡地区青年会

◆福岡教区青年黙想会

テーマ：「司祭のよろこび」

日 時：2009年9月22日(火) 13:00

～23日(水) 昼食後

場 所：カトリック神学院福岡キャンパス

対象者：18歳から40歳の司祭・修道者の召命

を考える青年男子

参加費：2000円

申込・問合せ先：

浦川神父(☎0942-32-8011 久留米教会)

■小倉祈りの集い
 (日時) 8月21日(金) 13時半
 から15時(場所) カトリック
 小倉教会信徒会館2階(指導
 ガブリエル神父(御受難修道
 会(内容)『みことばを味わ
 う』賛美と感謝の祈り(連絡
 先) ☎0900・3985・5
 209 松田裕子
 ■北九州召命を共に祈る会
 (日時) 9月10日(木) 14時か
 ら(場所) カトリック小倉教
 会(内容) 召命御ミサ及びミ
 ティング(司式・指導) 伊東
 成晃神父(門司教会主任) (問
 合せ先) ☎093・963・
 2359 江口

編集後記

皆様、日食はごらんになれ
 ましたか。歴史的な時でした
 ね。動物や小動物は私たちよ
 り敏感に自然の移り変わりや
 異変を感じるものなのです
 ね。また、どんなに科学が発
 達しても神様が造られた自然
 の前に人間は無力であるとい
 うことも実感しました。さて、
 衆議院選挙が始まります。私
 たちの国は、どのような方
 に向かうのか。それは、有権
 者である私たち一人ひとりの
 選択にかかっています。神の
 導きを祈りながら、この国の
 政治をしつかりと見守ってい
 きたいものです。来月号はお
 休みです。どうぞよき休みを
 過ごされますように。

COSMOS
 スポーツ用品・OA・文具 **コスモス**

〒830-1224 三井郡大刀洗町鶴木67-3

T E L 0942-77-3199

代表者 ベトロ 平田 清

社会医療法人 聖の聖母会

聖マリア病院

救急救急センター

総合医療施設・センター

地域医療支援病院

内科・外科・産科・小児科

★入院費無料(保険適用)★

〒830-1243

福岡県久留米市幸徳本町45-1

TEL:0942-38-1111(内線)

FAX:0942-38-3113

http://www.smaria-hospital.co.jp

天然素材の
健康住宅

大地・海・山の恵みを取り入れ優れた素材を

そのままディスプレイした住まいづくり

有限会社 **ナガシマ建築工房**

社長 ヨゼフ 長島樹夫

福岡市早良区飯倉8-10-17 TEL:092-871-0063

【ナガシマ建築工房 福岡】 検索

サンパウロ福岡宣教センター

永井隆に

愛と平和

を考える (この夏、永井隆の本を読んでみませんか…)

1階 聖書・信心書・聖人伝・リリ外関係・絵本・一般書等

2階 家庭祭壇・十字架・ガリイ・ご像・ご絵・CD・DVD等

営業:10:00~18:00*定休日:日曜日・祭日・8/14~16*駐車場完備

〒810-0042 福岡市中央区赤坂1-14-26

tel.092-721-2032 fax.092-739-3930